



鈴木 慎也 議員
suzuki shinya

問 交通の利便性を活かしたまちづくりを

答 調査・研究を進め、施策を取りまとめたい ―― 町長

「ベットタウン」の
新たな可能性は

本年度から企業誘致
やちよつと暮らし

(※1)の準備が進ん

でいますが、雇用面か

らの人口増だけでは難

しいと考えます。並行

して新たな戦略的支援

策を展開し、住む町木

古内として選択する際

のきつかけを創出する

べきと考えます。交通

の利便性を活かし環境

整備を進め「ベットタ

ウン(※2)木古内」

としての施策が必要と

考えます。以下の3点

を提言しますので、町

長の見解を伺います。

(1)求人求職者マッチン

グ支援策：求人情報

を関係機関と連携し、

タイムリーな情報提

供。

(2)大学生の転入促進：

近隣大学生の家賃、

通学補助をはじめ、

仕掛けとして「学習

支援教室」の講師と

しての活用やボラン
ティア活動への参加

を促進。

(3)町外通勤者への通勤

費支援

大森町長 (1)ハローワ

ークとの連携により、

毎週1回、最新のもの

を庁舎1階に掲示し、

町内事業者の求人情報

も合わせて掲示してい

ます。職業斡旋は、職

業紹介責任者の配置が

必須となり職員の資格

受講を含め検討します。

(2)(3)インターチェンジ

開業により利便性が高

まることから、調査・

研究を進め、開業まで

に施策を取りまとめた

い。

再質問 町内から町外

へ、町外から町内で働

いているかたの人数は

何人ですか。

福田まちづくり新幹線

課長 国勢調査の数字

で言いますと、木古内

町から522名の方が
町外で働いています。

また、町外から木古内

町へ通勤しているかた

の人数は公表されてい

ません。

再質問 施策を考える

うえで町外から働きに

来られているかたの人

数は重要となりますの

で数字の分析を行って

ください。また、大学

生の部分ですが、学生

自身も地域に入ること

で視野が広がり、町と

しても若い力と新たな
発想が生まれ、好影響

を与えるものですので、

検討すべきものと思っ

ます。

大森町長 大学生の受

入れとなると、大学ま

での距離などさまざま

な問題が生じます。大

学生の若い力は大事な

ものと認識しています

ので、実現できるよう

会議の中でしっかりと

議論していきます。



道営住宅「であえ〜る駅前団地」(写真左)
駅北口側に位置しアクセスもよい

(※1) ちよつと暮らし…短期間町に滞在する宿泊施設。

(※2) ベットタウン…都心へ通勤する人の住宅地を中心に発達した都市圏周辺の衛星都市。